

歴史に刻まれた災害

第一八回
一緒に
考えましょ
う
講座

講師 岩本由輝

東北学院大学名誉教授、相馬市在住

二〇一四年四月十二日(土)

午後二時～四時

会場
北海道大学スラブ・
ユーラシア研究センター
四階大会議室

参加無料／事前予約不要



第18回 一緒に考えましょう講座

岩本由輝

東北学院大学名誉教授

歴史に刻まれた災害

東京電力福島第一原発の建設と「慶長津波」の矮小化

会場：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター
4階大会議室

時間：午後2時～4時

■参加無料 ■事前予約不要

講師紹介

お招きする講師の岩本由輝先生は柳田国男研究の第一人者としても高名な方です。3.11 の東日本大震災では相馬市のご自宅が半壊するなど、震災を直接経験されました。長年にわたり福島県や相馬地方の地域史も数多く手がけられ（飯館村史や大熊町史もその一部です）、地域の伝承や口承にも精通しておられます。震災後は、改めて津波関連の歴史文書を涉獵され、地域史の視点から社会に重要な問題提起を続けていらっしゃいます。「慶長津波の矮小化がもたらしたもの」（『宮城歴史科学研究』第72-73合併号、2013年）は岩本先生の震災関連の見事な御著作ですが、この中で岩本先生は、歴史文書に記された過去の自然災害記録の正確な読解を示してくださいます。科学者が、そんなはずはない、と「科学の目」で古文書の記録を誤読し、改ざんして、東日本大震災への備えをおこたらせた事など、科学への過信や、学者の知見に頼ることへの警鐘を発しておられます。ユーモアに富む極めて優れた話者で、講演会はいつも笑いと充実感に満ちています。みなさまのご参加を、心よりお待ちしております。



岩本先生を囲んで
公開研究会のご案内

■参加無料 ■事前予約不要

講師

岩本由輝

東北学院大学名誉教授

第1回 中・東欧研究会

論題：文献資料批判と歴史学（仮題）

会場：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター
4階小会議室

時間：午後2時～4時

■スラブ・ユーラシア研究センター

北区北9条西7丁目



お知らせ

北海道大学「スラブ研究センター」は4月1日から「スラブ・ユーラシア研究センター」に改称しました。

■主催／お問い合わせ

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター
家田研究室

TEL 090-2813-4907

ieda@slav.hokudai.ac.jp

<http://lets-think.com>

詳細は家田研究室HPの講座日程をご覧下さい。

■共催 北海道の自然と命のネットワーク